

一月十日

内務省へ達

其省職制并事務章程相渡候條此旨相達候事

大藏教部工部司法四省へ達各通

内務省事務章程別紙ノ通被定候ニ付テハ其省職制章程追テ改正ノ上相渡候迄ハ右ニ關係候箇條ハ都テ取消候儀ト可相心得此旨相達候事

内務省職制及事務章程

凡官ニ職制アル以テ其權限ヲ知ルヘク務ニ章程アル以テ其統紀ヲ明ニスヘシ於是諸官職掌ヲ奉シ各課程限ヲ守テ政治綱目并舉條理秩然タルヲ要ス

第一條

内務省ハ國內安寧保護ノ事務ヲ管理スル處ナリ

第二條

省務ヲ支分スル者

勸業寮 警保寮 戸籍寮 驛遞寮 土木寮

地理寮 測量司 記録課 庶務課

第三條

卿

第一

本省及各寮司ノ官員ヲ統率シ省中一切ノ事務ヲ總判スルヲ掌ル

第二

全國人民ノ安寧ヲ計リ戸籍人口ノ調査人民産業ノ勸奨地方ノ警備等總テ其掌管ノ事務ニ於テハ正院ニ抵リ大臣ニ乞テ其現勢ノ便否ヲ明辨スルヲ得ル

而シテ其事務ヲ調理スルニ於テハ 天皇陛下ニ對シテ擔保ノ責ニ任ス

第三

特旨解赦恩典ノ事アルヲ奉行ス

第四

事務章程ニ照シ制可ヲ乞フ條ハ上奏シ其專任ヲ得ル條ハ便宜ニ處分スルノ權ヲ有ス

第五

各寮司ヨリ具狀スル事務ハ其緩急ヲ審察シ之ヲ決判取捨スルノ權ヲ有ス

第六

闕席スル事有トキハ輔ニ命シテ其事務ヲ代理令ムルノ權ヲ有ス

第七

省中ノ官員奏任以上ノ進退ハ太政官ニ於テ命スト
雖モ之ヲ黜陟スヘキハ其要旨ヲ具狀シテ命ヲ乞フ

第八

判任以下ハ其能否ヲ監別シ丞及寮司頭正ノ具狀ニ
比較シテ黜陟ヲ專行ス

第九

各地方ノ官員奏任以上ノ進退黜陟ニ關與ス

第十

省中奏任以下ノ官員ヲシテ地方ヲ巡察セシムルノ
權ヲ有ス

大輔 少輔

第一

職掌責任卿ニ亞リ

第二

卿ノ代理タリシ時ハ其意ヲ體認シ一切ノ事務ヲ總
理スルヲ要ス

第三

省中掌管ノ事務ニ於テハ卿ト共ニ正院ニ抵リ其現
務ノ便否ヲ明辨スルヲ得

大丞 少丞

第一

卿ノ命ニ從テ省中各課ノ事務ヲ管理ス

第二

各課ノ事務ニ付テハ其擔當ノ制限ニ依リ卿ニ對シ
テ之ヲ調理スルノ責ニ任ス

第三

省務ニ關スル公文受付ヲ提掌ス

第四

所管ノ月報考課狀ヲ檢閲シテ卿ニ呈ス

第五

所管判任以下ノ勤惰ヲ正シ各課ノ事務ヲ獎督シ其
能否ヲ監別シテ黜陟ヲ具狀ス

大録

權大録

中録

權中録

少録

權少録

第一

各課長ニ從テ其事務ヲ覆辨ス

第二

凡文書ヲ受付往復スルハ都テ課長ノ指授ニ從フ
本省事務章程

第四條

戸籍ノ法ヲ設ケ警邏ノ規則ヲ定メ或ハ之ヲ更正スル
事

第五條

貧院病院ヲ創建シ其方法ヲ設立スル事

第六條

賞典ノ制ヲ定ムル事

第七條

農業學校并勸會社ノ制ヲ定ムル事

第八條

州郡ノ經界村市ノ制置及土地ノ名稱ヲ更正スル事

第九條

各地方廳ノ位置ヲ變シ或ハ支廳ヲ廢立スル事

第三

省務ニ關スル公文受付ヲ提掌ス

第四

所管ノ月報考課狀ヲ檢閲シテ卿ニ呈ス

第五

所管判任以下ノ勤惰ヲ正シ各課ノ事務ヲ獎督シ其能否ヲ監別シテ黜陟ヲ具狀ス

大録

權大録

中録

權中録

少録

權少録

第一

各課長ニ從テ其事務ヲ處辨ス

第二

凡文書ヲ受付往復スルハ都テ課長ノ指授ニ從テ本省事務章程

第四條

戸籍ノ法ヲ設ケ警邏ノ規則ヲ定メ或ハ之ヲ更正スル事

第五條

貧院病院ヲ創建シ其方法ヲ設立スル事

第六條

賞典ノ制ヲ定ムル事

第七條

農業學校并勸會社ノ制ヲ定ムル事

第八條

州郡ノ經界村市ノ制置及土地ノ名稱ヲ更正スル事

第九條

各地方廳ノ位置ヲ變シ或ハ支廳ヲ廢立スル事

第十條

地方官廳費及民費ヲ増減スル事

第十一條

寮司ヲ廢置シ職制章程ヲ改定スル事

第十二條

奏任以上ノ官員ヲ進退スル事

第十三條

道路川海堤防橋梁修繕ノ事務及法則ノ事

第十四條

内外形乘船規則ヲ立ル事

第十五條

山林法則及繁息ノ道ヲ施行スル事

第十六條

官員ヲ増減スル事

以上各條正院ニ於テ裁決スルヲ恒トスト雖其制度
法律規則ノ考按ニ至テハ其意見ヲ上奏シ制可ヲ經レ
ハ起草スルヲ得

第十七條

國內取締ニ關スル事務并邏卒消火支ノ支配ノ事

第十八條

全國ノ記録ヲ保存スル事

第十九條

古蹟ヲ保存スル事

第二十條

郵便廻漕ノ事務ヲ支配スル事

第二十一條

演戲遊觀所取締ノ事

第二十二條

定規アル賞典ヲ施行スル事

第二十三條

成規アル衣食種勸農具代等ヲ貸付スル事

第二十四條

金券發行會社ヲ除クノ外會社設立ノ准允ヲ與ル事

第二十五條

歸籍沒籍及ヒ棄兒養育等ニ係ル地方ノ申牒ヲ査閱シ
既定ノ恒例ニ照シテ指令スル事

第二十六條

村市ノ經界及田畑山林原野沮澤湖沼港津海岸等管轄
中或ハ他ノ管轄ニ交渉スルヲ檢査スル事

第二十七條

田畑山林屋敷地ヲ變シ及潰地亡所或ハ起返開墾其他
地所拂下等ノ類土地ニ關スル地方ノ申牒ハ成規恒例
ニ照シテ處置スル事

第二十八條

非常ノ災變ニ由リ流亡セシ人畜土地家屋ヲ調査スル
事

第二十九條

災變ニ遇フ窮民ヲ規則ニ照シテ救助スル事

第三十條

生理ヲ安寧ニスル諸法ノ施行及其安寧ニ付テ諸省ニ
文書往復スル事

第三十一條

定額ヲ以テ省中一切ノ諸費ヲ辨給スルヲ確設スル事
第三十二條
掌管ノ事務ニ付テ推問照會督促等ノ文書假令地方ニ
通シテ布達スル事ト雖モ便宜往復受付ヲ得ル事

第三十三條

月給俸給旅費其他買辦品等ノ代價及修繕ノ經費ニ至
ル迄一切ノ公費計算ハ其分類ヲ詳悉シ毎月毎歳大藏
ノ成規ニ照準シ一覽表ヲ製シテ上呈スル事

第三十四條

省中事務官省各局ニ交渉スルモノハ其省ニ照會シテ
後執行スル事

第三十五條

凡省中ニ於テ處分スル事務細大トナク毎月毎年ト區
別シテ詳明ナル月報考課狀ヲ上呈スル事

以上各條省中專任トス

内務省職制及事務章程恪守遵奉其職ヲ盡ス可シ若シ
本省事務舉ラサルアレハ臣謹テ其責ニ任ス可キ也月

十日
内務

内務卿大久保利通

太政大臣三條實美殿

内史本課議按

内務省職制事務章程列冊ノ通御決定相成可然依之
同省ヘノ御達按及大藏省司法省工部省ヘノ御達按
共取調相同候也
一月八日
内務

一月十日

七年

内務省職制及事務章程

此令七年二月十八日改正スルモノナリ
但月日ハ最初御渡ノ日ヲ掲ク

内務省ハ國內安寧人民保護ノ事務ヲ管理スル 處其事
務ヲ支分シテ六寮一司ト為ス

勸業寮

警保寮

以上
一等寮

戸籍寮

驛遞寮

土木寮

地理寮

以上
二等寮

測量司

一等
司

職制

御

第一 本省及各寮司ノ官員ヲ統率シ省中一切ノ事務
ヲ總判スルヲ掌ル

第二 全國人民ノ安寧ヲ謀リ戸籍人口ノ調査人民產
業ノ勸奨地方ノ警備其他土木地理驛遞測量等其掌管
ノ事務ニ於テハ大臣ニ請テ其現務ノ便否ヲ明辨スル

ヲ得ル而其事務ヲ調理スルニ於テハ 天皇陛下ニ對シテ擔保ノ責ニ任ス

第三 特旨解赦恩典ノ事アルヲ奉行ス

第四 事務章程ニ照シ制可ヲ乞フノ條ハ上奏シ其專任ヲ得ル條ハ便宜處分スルノ權ヲ有ス

第五 各寮司ヨリ具狀スル事務ハ其緩急ヲ審察シ之ヲ決判取捨スルノ權ヲ有ス

第六 省中ノ官員奏任以上ノ進退ハ太政官ニ於テ命スト雖モ之ヲ黜陟スヘキハ其要旨ヲ具狀シテ命ヲ乞フ

第七 判任以下ハ其能否ヲ監別シ丞及ヒ寮司頭正ノ具狀ヲ案シテ其黜陟ヲ專行ス

第八 各地方ノ官員奏任以上ノ進退黜陟ニ關與ス

第九 省中奏任以下ノ官員ヲ命シテ地方ヲ巡察セシムルノ權ヲ有ス

大輔 少輔

第一 職掌責任卿ニ重ク

第二 卿闕席ノ時ハ其事務ヲ代理ス

大丞 少丞

第一 卿ノ命ニ從テ省中各課ノ事務ヲ管理ス

第二 各課ノ事務ニ付テ其擔當ノ制限ニ依リ卿ニ對シ之ヲ調理スルノ責ニ任ス

第三 省務ニ關スル公文受付ヲ提掌ス

第四 處管ノ月報考課狀ヲ檢閲シテ卿ニ呈ス

第五 處管判任以下ノ勤惰ヲ正シ各課ノ事務ヲ獎督シ其能否ヲ監別シテ黜陟ヲ具狀ス

大録 権大録 中録 権中録 少録 権少録

第一 各課長ニ從テ其事務ヲ所辨ス

第二 凡ソ文書ヲ受付往復スルハ都テ課長ノ指授ニ從ス

事務章程

第一條 戸籍ノ法ヲ設ケ警邏ノ規則ヲ定メ或ハ之ヲ更正スル事

第二條 貧院病院ヲ創建シ其方法ヲ設立スル事

第三條 賞典ノ制ヲ定ムル事

第四條 農業學校并勸農會社ノ制ヲ定ムル事

第五條 州郡ノ経界ヲ更正スル事

第六條 各地方廳ノ位置ヲ變シ或ハ之ヲ廢立スル事

第七條 地方官廳費及民費ヲ増減スル事

第八條 寮司ヲ廢置シ職制章程ヲ改定スル事

第九條 奏任以上ノ官員ヲ進退スル事

第十條 道路川海堤防橋梁ノ新營或ハ其法則ヲ立ル事

事

第十一條 郵便ノ法則ヲ設ケ或ハ之ヲ更正スル事

第十二條 内外形商船規則ヲ立ル事

第十三條 山林法則及繁息ノ道ヲ施行スル事

第十四條 例規ナキ賑恤及貸附ヲ施行スル事

第十五條 官員ノ定數ヲ増減スル事

右上款各條正院ニ於テ裁決スル處ト雖其制度法律規則ノ考按ニ至テハ其意見ヲ上奏シ制可ヲ經レハ起草スルヲ得ハシ

第十六條 全國ノ記録ヲ保存スル事

本條ニ付内務省伺アリ
書籍ニ出ス

第十七條 古蹟ヲ保存スル事

第十八條 海陸運輸ノ法方ヲ施行スル事

第十九條 演戲遊觀場取締ノ法方ヲ施行スル事

第二十條 定規アル賞典ヲ施行スル事

第二十一條 例規アル賑恤ヲヨヒ貸付ヲ施行スル事

第二十二條 金券發行會社ヲ除ク外諸會社設立ノ准允

ヲ與ル事

第二十三條 脱籍歸籍及棄兒養育等ノ事ヲ例規ニ照シ

テ處分スル事

第二十四條 村市ノ經界及田畑山林原野沮澤湖港津海

岸等甲ノ管轄乙ノ管轄ニ交渉スルヲ檢查スル事

第二十五條 租税ノ増減ニ關與スル事

第二十六條 土地ヲ測量スル事

第二十七條 田畑山林屋敷地ヲ變シ及潰地亡所或ハ起

返開墾其他地所拂下等ノ類例規ニ照シテ處分スル事

第二十八條 災變ニ由リ流亡セシ人畜土地家屋ヲ調査

シ例規ニ照シテ救助スル事

第二十九條 生理ヲ安寧ニスル諸法ヲ施行スル事

第三十條 村市ノ制置及土地ノ名稱ヲ更正スル事

第三十一條 各地方ノ支廳ヲ廢立スル事

第三十二條 道路川海堤防橋梁等修繕便宜處分スル

事

第三十三條 定額ヲ以テ省中一切ノ諸費ヲ辨給スル

ヲ確設スル事

第三十四條 掌管ノ事務ニ付テ各人民ハ推問督促等

便宜地方官ヲ經由セスシテ直ニ往復ヲ得ル事

第三十五條 月給俸給旅費其他買辦品等ノ代價及修繕ノ經費ニ至ル迄一切ノ公費計算ハ其分類ヲ詳悉シ毎月毎歳大蔵省ノ成規ニ照準シ一覽表ヲ製シテ上呈スル事

第三十六條 省中事務官省各局ニ交渉スルモノハ其省ニ照會シテ後執行スル事

第三十七條 凡省中ニ於テ要令スル事務細大トナリ毎月毎年ト區別シテ詳明ナル月報考課狀ヲ上呈スル事

右下款各條本省專任ノ事トス

右職制事務章程

上裁欽定スル所ナリ能ク之ヲ守リ其程限ヲ愆ル勿レ

明治七年一月十日 奉勅 太政大臣三條實美

内史本課申牒

内務省職制章程校定案上申仰高裁也